

# 阿東

## 暮らししも仕事も充実 「便利な田舎」での日々

Real Voice 1

農家 賀屋良季さん

妻の実家がある山口市阿東徳佐に移住し、農家になる夢を叶えた賀屋良季さんは、東京生まれの東京育ち。賀屋さんは、仕事にも生活にも困らない徳佐を「便利な田舎」と表現する。そんな徳佐暮らしを満喫する賀屋さんに、地域の魅力や現在の暮らしぶり、目標などを聞いた。

徳佐に移住して15年  
憧れの農業に日々向き合う

院の博士課程で農学を学びました」。学びの中で改めて農業の魅力を実感したそう。

徳佐との縁を繋いだのは妻  
移住への不安はなかった

緑・赤・黄……色とりどりのパプリカの重さを測って袋詰めし、一袋ずつラベルを貼る。黙々と出荷の準備をするのは、東京から移住して山口市阿東徳佐で農業を営む賀屋良季さん。徳佐に移り住んで15年、朝早く起き、夜早く寝る農家の生活はもう当たり前になったという。東京生まれで親は教師、親戚にも農家はいない。高専も大学も工学系という人生を歩んできた賀屋さんと農業は無縁のように思えたが、比較的自然の多い立川市育ちで、茶畑でかくれんぼをしたり、白菜の冬囲いを見て面白かったりと、農業は割と近い存在だったそう。「子どもの頃から農業に憧れはありましたが、兄の影響でいったんは工学系に進みました。でもやっぱり農業に興味があって、大学

賀屋さんと徳佐、農業をつないだのは奥様だった。「大学で出会った妻はここ徳佐の出身で、実家は兼業農家。『私は山口に帰るけど、あなたはどうする?』と言われて、迷いなく一緒に行くことを決めました。いわゆる「嫁ターン」です」。結婚後、徳佐での就農に備え、賀屋さんはまず熊本県八代市のトマト農家に住み込み、トマトの栽培を学んだ。「トマトは難しいけれど、作れるようになったらほかの作物も栽培できると聞き、一年間みっちり鍛えてもらいました。この一年で作業の段取りはもちろぬ、農家の暮らしを学ぶことができました」。熊本での修業を終えて

農業は働き方を自分で  
デザインできるのが醍醐味。

賀屋さんが育てるパプリカは、色つやがよく肉厚。できるだけ農業を使わず、安心安全なものを届けている。







地域に馴染むための秘訣を問うと、「とにかく挨拶すること」と賀屋さん。温かな地域の人々に見守られ、子どもたちはすくすく育っているという。

都会と変わりなくできる」との返答が。目標は立派な農業経営者になることだという。「徳佐でこれから就農を目指す若い人たちの見本となるような、夢を与えられる存在になりたいです」。そう話す賀屋さんからは、徳佐愛が溢れていた。

## 仕事も子育ても充実させ 移住に夢与えられる存在に

賀屋さんは徳佐を「便利な田舎」と表現する。「役所も学校も病院もコンビニも、小さなエリアにギュッと揃っています。インターネット環境も整

っていますから、生活に関する不便は特に感じていません。都市部との差はほとんどなくなってきました」。子育ての面でも田舎暮らしはメリットが多いと続ける。「子どもが少ないので、地域の方がとても大切にしてくれます。自然と見守ってくれて、育児をサポートしてくれるんです。学校では先生方の目が行き届き、大規模校と違って一人ひとりにスポットライトが当たります。それに、川遊びや山遊びなど都会ではできない遊びも経験させられます」。一方で、中学生の長女は、市中心部の学校に電車通っている。そこには、「田舎の学校の良さもあるけど、社会性を養うというか、人数が多いからこその経験もさせたい」という思いがあるのだとか。「市中心部までは車や電車で40〜60分。徳佐は田舎と都市部のいいとこ取りができる場所。子どもには両方の経験をさせてあげられます」。最後に徳佐暮らしの魅力を聞くと、「何よりの魅力は自然の豊かさ。インターネット環境や交通網も発達し、仕事も生活も

1.ビニールハウスでは、トマト、ミニトマト、パプリカ、ニラを栽培。田んぼではコシヒカリやもち米、日本酒用の酒米も生産している。2.専業農家として、奥様と二人で農作業に勤しむ。「夏のハウスはまるでサウナです。次から次へとできるトマトの収穫に追われますが、毎日とても充実しています」と賀屋さん。3.阿東徳佐地域は県内有数の米どころ。広々とした田畑が広がる。



## 阿東を盛り上げたい女性のネットワーク

阿東が好きな、若い世代の女性を中心としたグループ、通称「あともり」。毎月1回、情報交換、仲間づくりや阿東を学ぶ場(女子会)を提供している。賀屋さんの奥様もメンバーの一人。地域の活性化に一役買っている。インスタグラムで情報も発信中。



Instagram



表紙の写真

秋も深まった10月下旬に、船方農場で開催された「焚火女子会」。あたたかいココアやコーヒーを片手に、焚火のゆらめきを見つめながら楽しい時間を過ごしました。当日はあともりウクレレ部による演奏も! ♪



手際よく袋詰めしながら、「徳佐は星空と水と空気がとにかくきれい。それに、住んでいる人も優しく温かい。都会に住んでいても家に籠ってゲームをしたり、動画を見たりするくらいなら、徳佐に移住した方がずっと人生が楽しめるし、豊かになると私は思います」と話す賀屋さん。

## 大好評! あともりマップ

あともりメンバーが手がけた、阿東の旬の情報を盛り込んだマップ。春夏秋冬4バージョンがある。イベントなどで配布しているほか、あともり観光協会のウェブサイトからダウンロードもできる。

<https://ato-kankou.org/archives/8723>

取材の様子は動画でもご覧いただけます。

